

令和5年度第1回
久喜市総合教育会議

不登校児童生徒への支援について

久喜市教育委員会 教育部指導課

▶不登校の現状と課題

▶不登校対策について



久喜市小・中学校
マスコットキャラクター
「はぴるん」

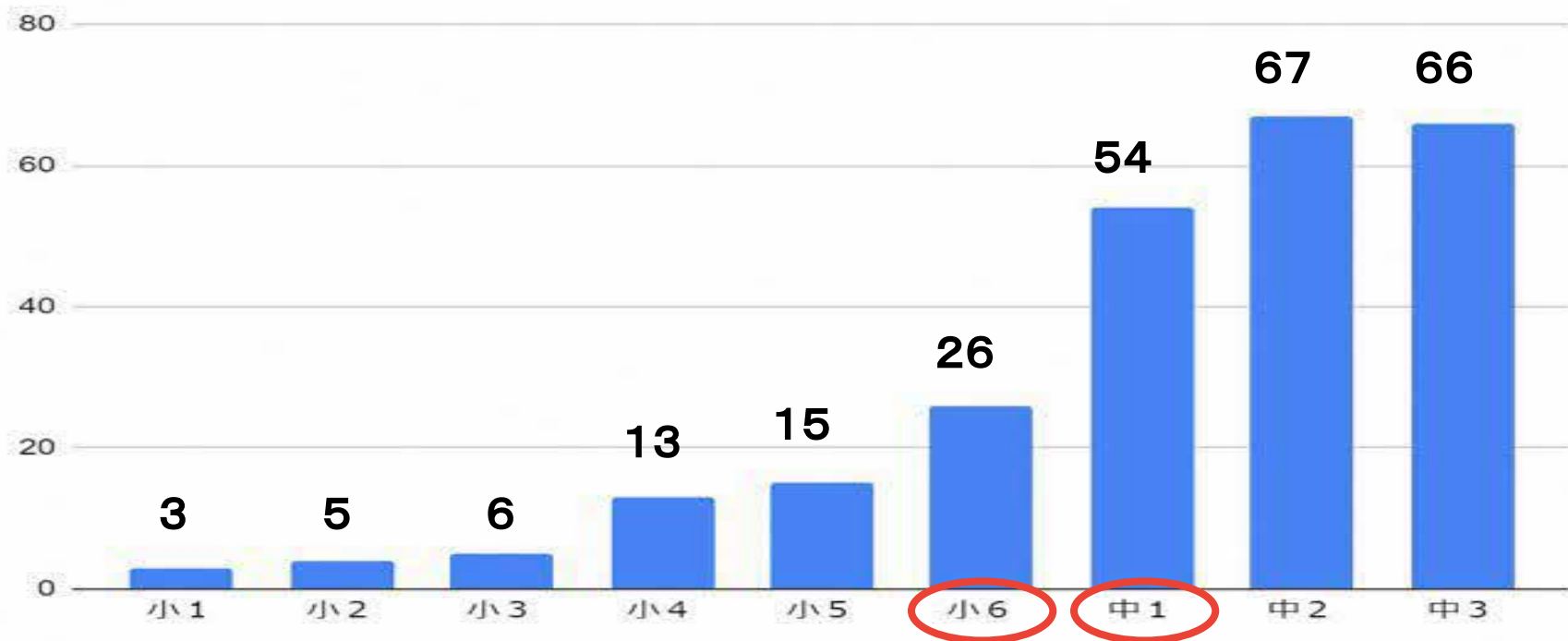
不登校児童生徒 久喜市の現状

(1) 年度別不登校児童生徒数の推移

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	13	22	39	56	43	68
中学校	66	107	109	124	138	187
合計	79	129	148	180	181	255

不登校児童生徒 久喜市の現状

(2) 学年別の不登校児童生徒数(R4)



不登校児童生徒 久喜市の現状

(3) 不登校児童生徒のうち、市内外の教育支援を受けている児童生徒の割合(R4)

	不登校児童生徒数	支援の結果、登校できるようになった児童生徒数	教育支援センター(適応指導教室)に通う児童生徒数	フリースクールに通う児童生徒数	KDXに参加している生徒数	教育支援を受けている児童生徒の割合
小学校	68	32	1	0	-	48.5%
中学校	187	50	18	5	8	43.3%

※各在籍校におけるオンライン学習を除く

「COCOLOプラン」 (文部科学省)

誰一人取り残されない

学びの保障に向けた

不登校対策

Comfortable,
Customized and
Optimized
Locations of learning

1

不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、
学びたいと思った時に学べる環境を整えます。



- ✓ 一人一人のニーズに応じた多様な学びの場が確保されている。
※ 学校や地域、校内外学習センター(スモール学習ルーム等)、教育支援センター等、このほか地方自治体、非営利の学びの場、事業者と連携
- ✓ 学校に来られなくてもオンライン等で授業や支援につながる事ができる
- ✓ 学校に戻りたいと思った時にクラスを変えたり、転校したりするなど本人や保護者の希望に沿った丁寧な対応がされている

— P5

2

心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。



- ✓ 1人1台端末で小さな声も可視化され、心の不安や生活リズムの乱れに教師が確実に気付くことができる
- ✓ 小さなSOSに「チーム学校」で素早く支援することにより、早期に最適な支援につながっている
- ✓ 教育と福祉等が連携し、子供や保護者が必要な時に支援が行われる。
※ このほか教育と連携し、自治体の教育関係と福祉関係等の連携(連携強化)

— P7

3

学校の風土の「見える化」を通して、
学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。



- ✓ それぞれの良さや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍できる機会や出番がある
- ✓ トラブルが起きても学校はしっかり対応してくれる安心感がある
- ✓ 公平で納得できる決まりやルールがみんなに守られている
- ✓ 障害や国語言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う雰囲気がある

— P9

COCOLOプラン

令和5年3月



文部科学省

久喜市総合的な不登校対策

とりのこさない みのがさない つくらない

学びたいと思ったとき
に学べる環境を

- 1 教育支援センター
- 2 久喜市共同オンライン分教室(KDX)
- 3 校内での支援
- 4 くき本樹塾
- 5 多様な学びの場との連携

<早期対応的視点>

子どもの発するSOS
に対する支援体制を

- 1 調査・アンケートの活用
- 2 ふかまるくん
ひんとちゃん
- 3 ガイドライン集
- 4 教育相談体制の充実
- 5 関係機関と連携

<早期発見的視点>

学校をみんなが安心して学べる場所に

- 1 オンライン教育の実施
- 2 個別最適な学び
協働的な学びの実現
- 3 STEAM教育の推進
- 4 教職員ポータルサイトの活用
- 5 インクルーシブ教育の
一歩先へ

<予防的視点>



久喜市総合的な不登校対策

とりのこさない

学びたいと思ったときに
に学べる環境を

- 1教育支援センター
- 2久喜市共同オンライン分教室(KDX)
- 3校内での支援
- 4くき本樹塾
- 5多様な学びの場との連携

<早期対応的視点>

みのがさない

子どもの発するSOS
に対する支援体制を

調査・アンケートの活用

ふかまるくん

ひんとちゃん

ガイドライン集

教育相談体制の充実

関係機関と連携

<早期発見的視点>

つくらない

学校をみんなが安心して
学べる場所に

- 1オンライン教育の実施
- 2個別最適な学び
協働的な学びの実現
- 3STEAM教育の推進
- 4教職員ポータルサイトの活用
- 5インクルーシブ教育の
一歩先へ

<予防的視点>



学びたいと思ったときに学べる環境を整える

家庭では 家庭学習(自学)

学校では 相談室等に登校
放課後に登校
部活動に登校 等

+

在籍学級の授業
オンライン

久喜市では 教育支援センター(旧適応指導教室)
共同オンライン分教室(略称:KDX)

1 教育支援センター フレンドルーム(旧適応指導教室)



市内4か所に設置

一人ひとりの学習の定着についても支援

- ・さくらフレンド
- ・ポピーフレンド
- ・サルビアフレンド
- ・コスモスフレンド

2 久喜市共同オンライン分教室(KDX)

実際の様子



KDX時間割

HR	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
HR 8:00~8:30	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
1 8:30~9:30	国語	英語	英語	英語	英語
2 9:30~10:30	社会	国語	社会	国語	社会



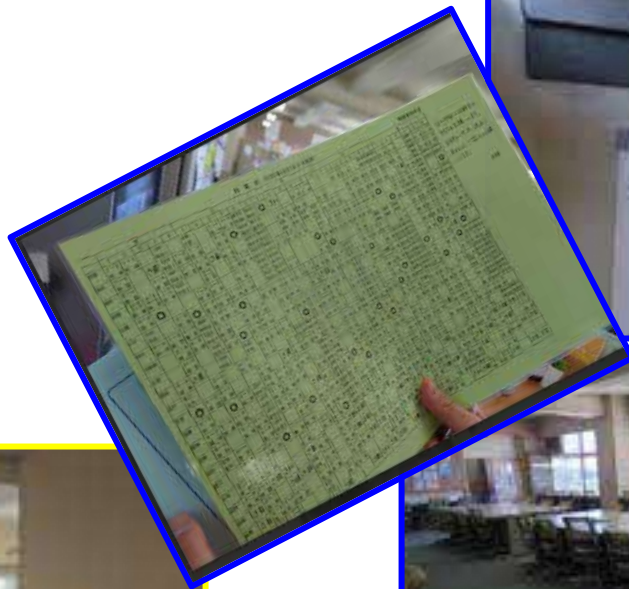
補習ではなく、リアルタイムを家庭等で

3 校内での支援

相談室や別室に登校できるように



全小中学校に相談室
の設置(心のケア)



別室での学習によ
り学びの保障

3 校内での支援

校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）、

- 1** 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、
学びたいと思った時に学べる環境を整えます。
— P5
 - ✓ 一人一人のニーズに応じた多様な学びの場が確保されている。
※ 学習支援センター・校内教育支援センター・スペシャルサポートルーム等、教育支援センター等、このほか適切な場所、多様な学びの場、指導員を確保
 - ✓ 学校に戻りたいと思った時に、学校に戻れる環境を整えられることができる。
 - ✓ 学校に戻りたいと思った時にクラスを戻したり、転校したりするなど本人や保護者の希望に沿った丁寧な対応が求められる。
- 2** 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。
— P7
 - ✓ 1人1台端末で小さな声が見え、心の不安や生活リズムの乱れに教師が確実に気付くことができる。
 - ✓ 小さなSOSに「チーム学校」で早く支援することにより、早期に最適な支援につなげられている。
 - ✓ 教育と福祉等の連携し、子供や保護者が必要な時に支援が行われる。
※ 2つとも実施例と連携し、両者の教育実践と福祉実践の連携・連携を促す。
- 3** 学校の風土の「見える化」を通して、
学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。
— P9
 - ✓ それぞれの良さや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍できる機会や出番がある。
 - ✓ トラブルが起きても学校はしっかり対応してくれる安心感がある。
 - ✓ 公平で納得できる決まりやルールがみんなに守られている。
 - ✓ 障害や困難言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う雰囲気がある。



校内教育支援センター
(スペシャルサポートルーム等)
の設置を促進



4 「くき本樹塾」放課後の学習支援

日時：月～金曜日の放課後2時間程度(15:30～17:30前後)
場所：市内中学校(特別教室等)

目的

市内全中学校に、学習支援員による学習支援を行う「くき本樹塾」を設置し、生徒に基礎学力の定着と発展的・応用的な学力の向上、学習習慣の定着を図る。

概要

対象：市内中学生(各校30名程度)
学校を通して申し込み



「くき本樹塾」運営例

	学習支援員の活動	生徒の活動
(事前)	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターは学校担当者と共に本日の進行について確認する。 ・コーディネーターが進行し、学習支援員打ち合わせを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席と学習用具を確認して会場に向かう。 ・遅れそうなどときや欠席するときは、学校の先生に伝えておく。
1 受付	・受付担当者が生徒の受付をする。	・名簿に丸を付け自分の席に座る。
2 開始	・コーディネーターが生徒への連絡事項を話し、始まるの号令をかける。	・自分の目標を確認する。
3 前半の部	・個別に学習支援を行う。	・自分で課題を決め、取り組む。
4 休憩	・コーディネーターが号令をかけ、休憩時間に入る。	・けがの無いように休憩する。
5 後半の部	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターが始まるの号令をかける。 ・個別に学習支援を行う。 	・前半の続きを行う。
6 終了	・コーディネーターが号令をかけ、終了する。	・感想カードを記入して提出する。
(事後)	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントは個別に整理しておく。 ・次の日支援員・担当者を確認し、解散する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物が無いように片づけをし、安全に気を付けて下校する。

復習を中心とした個別学習の指導・支援を行います。

対象

市内各中学校1～3年生
各校30名程度 ☆参加費無料

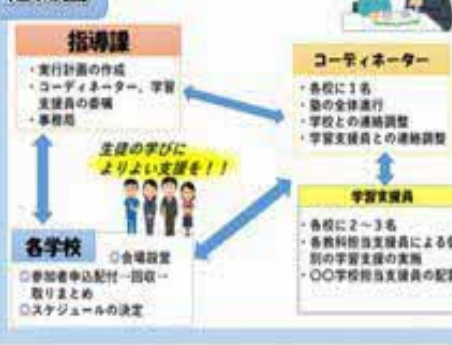
最後の一人まで何度でも、あきらめずに指導します！



行程



組織図

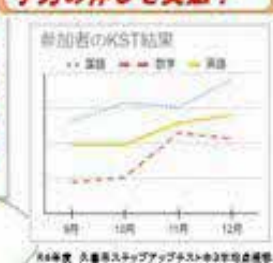


自分の課題に合わせた個別学習の実施



一人ひとりのつまづきや疑問に学習支援員が寄り添います。

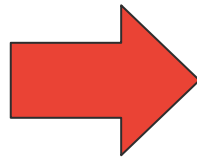
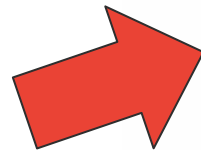
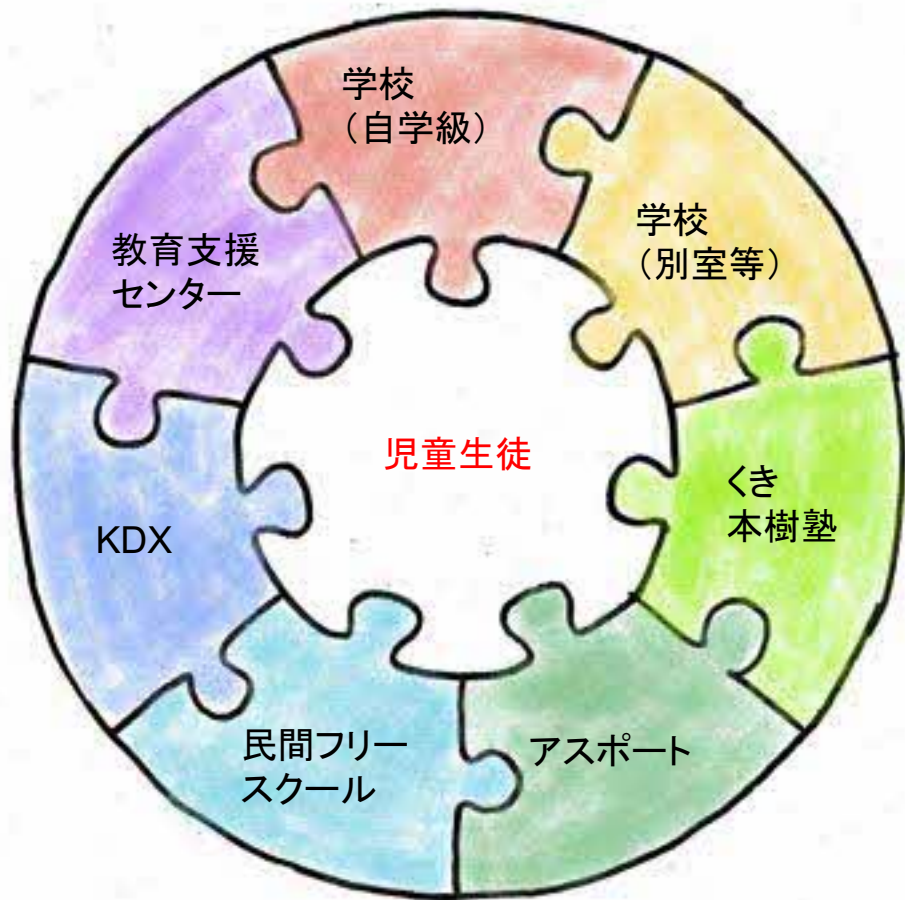
久喜市ステップアップテストで学力の伸びを実感!



86年度 久喜市ステップアップテスト3年時点結果

本気のあなたを本気でサポート!

5 多様な学びの場との連携



久喜市総合的な不登校対策

とりのこさない

学びたいと思ったときに
に学べる環境を

- 1教育支援センター
- 2久喜市共同オンライン分教室(KDX)
- 3校内での支援
- 4くき本樹塾
- 5多様な学びの場との連携

<早期対応的視点>



みのがさない

子どもの発するSOS
に対する支援体制を

- 1調査・アンケートの活用
- 2ふかまるくん
ひんとちゃん
- 3ガイドライン集
- 4教育相談体制の充実
- 5関係機関と連携

<早期発見的視点>



つくらない

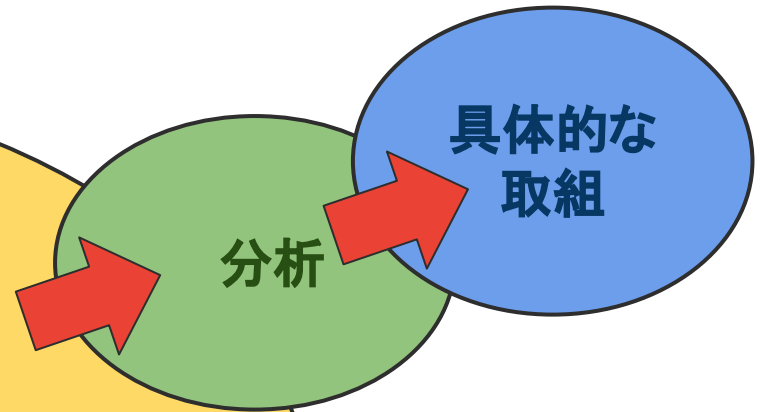
学校をみんなが安心して
学べる場所に

- 1オンライン教育の実施
- 2個別最適な学び
協働的な学びの実現
- 3STEAM教育の推進
- 4教職員ポータルサイトの活用
- 5インクルーシブ教育の
一歩先へ

<予防的視点>

1 調査・アンケートの活用②

- ・いじめアンケート
- ・学校評価アンケート
- ・全国学力・学習状況調査質問紙
- ・埼玉県学力・学習状況調査質問紙



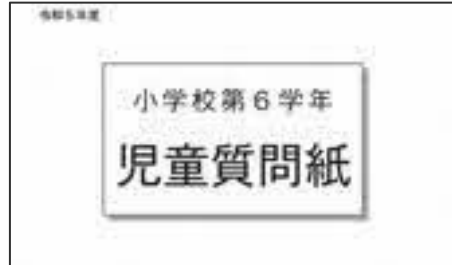
学校生活アンケート ()年()組

このアンケートは皆さんが安心して学校生活を送れる
のです。今の学校生活の状態について、あてはまるものに


問1 無視されたり、仲間はずれにされたりしたこと

【 ある・ない

問2 冷やかしたりからかい、悪口や脅しなど言われ



2 「ふかまるくん」と「ひんとちゃん」の活用



「ふかまるくん」
児童生徒が質問に答える
(教職員も答えられます)

～ 教職員 ～
『教職員向けポータルサイト』
メニュー: 教育相談 → ふかまるくんとひんとちゃん
「ふかまるくん」窓口へ
をクリック!

～ 児童生徒 ～
『児童生徒・保護者向けポータルサイト』
メニュー: ふかまるくん
「ふかまるくん」窓口へ
をクリック!

そうすると、下記の2つのリンクが表示されます。

- ① Googleフォームでの質問項目(「回答フォーム」)
- ② ①の分析結果
(※ 教職員の場合は自分の分析結果(個票)と、自校の分析結果(学校票)、児童生徒の場合は自分の分析結果(個票)のみが表示されます)

「ひんとちゃん」
教職員が見て、児童生徒の支援に
活かすことができる

～ 教職員 ～
『教職員向けポータルサイト』
メニュー: 教育相談 → ふかまるくんとひんとちゃん
支援のヒント集「ひんとちゃん」サイトへ
をクリック!

※ このサイトは教職員のみ閲覧可

特徴を知り、
支援のヒントが得られる



3 「教育相談に係るガイドライン集」の活用

紙ベースで各学校に配付、教職員ポータルサイトに掲載

①「チーム支援」を行うためのガイドライン

- ・指導課の専門職と一緒に学校を支援する方法をまとめたもの
- ・発達の課題を抱える児童生徒の支援についても、担任や学校だけで悩みを抱えることのないよう、また誰一人見逃すことなく個の課題に向き合っているようにするために作成したもの

②「不登校児童生徒の未然防止と自立に向けた支援」についてのガイドライン

- ・「理解」「支援体制」「実践」の3つからなる
- ・「実践」編、未然防止から初期対応、自立支援へと段階を追って支援の方法が分かるようになっている

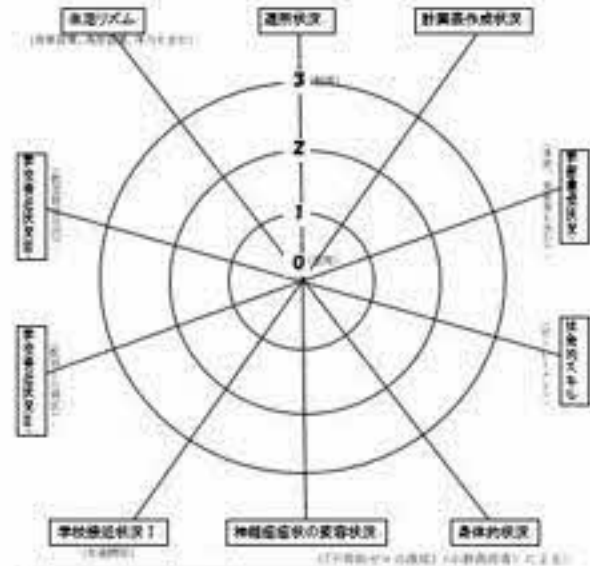
③「久喜市教育支援センター(旧適応指導教室)」についてのガイドライン

- ・教育支援センター(旧適応指導教室)の法的根拠や目的、久喜市教育支援センター(旧適応指導教室)の利用の流れ、実践等をまとめたもの

ガイドライン集より 「不登校状態チェックシート」

出典:「不登校ゼロの達成」(小野昌彦著)による

段階	3(軽度) 【PE-段階判定】	2 【PE-段階判定】	1 【PE-段階判定】	0(重度) 【PE-段階判定】
1 通所状況	自力で通所指導教室等に通所している(目標を決定して継続している)	一部単独で通所指導教室等に通所している(目標を決定して継続している)	保護者と同伴で約束の時間に通所指導教室等に通所する	通所指導教室等に通所していない(目標を決定していない)
2 計画表作成状況	登校予定日を設定し、状況に応じて目標を設定し対策を立案し、実行できる。その結果に基づいて計画修正もできる	登校予定日を設定し目標決定は援助なしで可能であるが、対策決定に助言を要する	登校予定日は設定できないが、目標設定は助言をすることによって可能であり、対策は専門家(SIC等)に立案してもらっている	専門家(SIC等)によって目標及び計画を立案してもらっている
3 学習進捗状況(体育、美術等も含む)	登校予定日以降の授業の予習、不登校時の授業内容の復習ができている	登校予定日前後の授業学習内容を習得している	1日30分程度の学習(得意等)をしている	学習習慣がない
4 社会的スキル(対人スキル)	〈2、3段階に加えて〉相手に主張(断る、止めさせる等)ができる	〈2段階に加えて〉要求を相手に言える(費用がかかるを含む)	基礎的なスキル(挨拶、他者称賛、謝罪)を養える	言語がない(保護者が代わりに喋る等)
5 身体的状況	適切な生活習慣によって、身体的状況が改善している	身体症状が生活習慣修正によって改善している	身体症状が薬業によって改善している	喘息、アトピー、影響等の身体症状がある
6 神経症症状の改善状況	学校場面に関連する神経症症状が消失している	限定された学校場面に関連する神経症症状が減少している	限定された学校場面に関連する神経症症状が出現している	多くの学校面で強い神経症症状が頻発している
7 学校接近状況Ⅰ(友達関係)	同級生と遊ぶことができる	同級生以外の友達と遊ぶことができる	同級生以外の友達と食うことができる(同伴も含む)	全く友達と食うことができない
8 学校接近状況Ⅱ(教師との関係)	担任教師(担任教師以外も含む)と会話することができる	担任以外の教師と会話することができる	担任以外の教師(養護教諭、通所指導教室指導員等)に保護者と一緒に食うことができる	全く学校関係者と食うことができない
9 学校接近状況Ⅲ(教室接近状況)	教室(校舎内)に滞在することができる(放課後、早朝等の別室でも含む)	学校敷地内の教室以外(校庭、待合室等)に滞在することができる	学校以外の所には外出できる	家から外出できない
10 生活リズム(食事習慣、清潔習慣、体力を含む)	登校時の始業時刻へ登校可能な生活リズムを2週間以上維持している	登校時の始業時間へ登校可能な生活リズムを1週間継続している	日中実働・週間実働がみられる	学校生活とは関連のない生活習慣で過ごしている(慢性化状態)



不登校状態チェックリスト1
【引きこもり状態～別室登校】

不登校状態チェックリスト2
【別室登校～完全復帰】

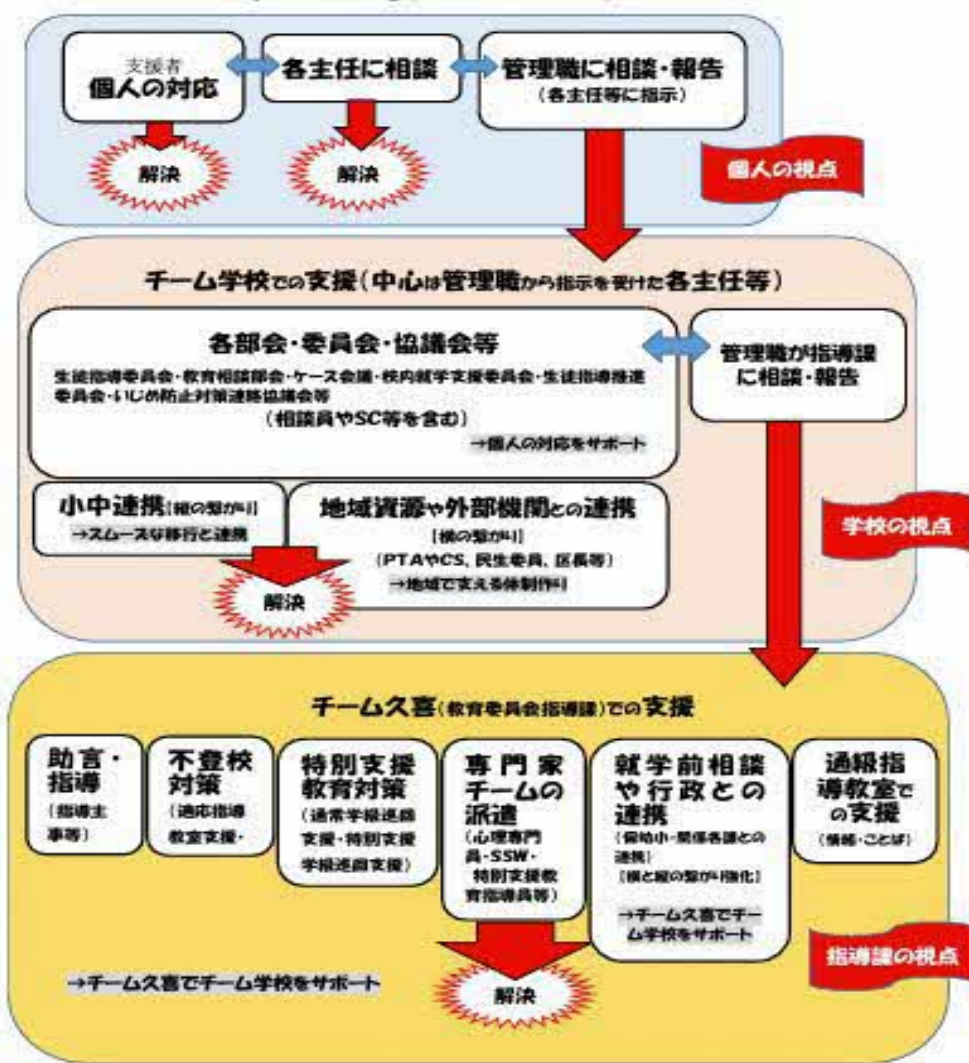
チーム学校からチーム久喜へ つながる支援

『個人』

『学校(チーム学校)』

『教育委員会指導課(チーム久喜)』

それぞれの視点でできること、やるべきこと、連携の仕方を明確化し、児童・生徒への支援のイメージを可視化



4 教育相談体制の充実



①リーフレット作成

②ホームページ掲載



③各学校に相談室を設置

	支援内容
心理専門員	通常学級への定期巡回支援 (教室訪問と教職員研修)
	緊急対応 個別の相談 ※
特別支援教育指導員	特別支援学級への巡回支援
	緊急対応 (特別支援学級) 就学相談に係る知能検査及び 面接相談
スクールソーシャルワーカー	定期学校訪問 (管理職及びきまわりが種教室)
	家庭訪問や保護者面談 緊急対応 (連絡必要ケース) 関係機関連携
教育支援センター所長	教育支援センターの利用・連 携 不登校児童生徒の対応の助言 緊急対応 (不登校)

④指導課 専門家チーム

専門家チームによる取組

不登校児童生徒支援連絡会議

不登校状態が続いており、安否確認がままならない場合や緊急的な対応・支援を必要とする児童生徒のケース検討を行う会議

・指導課の専門家チームによる助言・経過の見届け

【実施時期】

各学期1回ずつ、年間3回

【学校からの参加者】

管理職1名

担任等1名

【メンバー】赤字：専門家チーム

心理専門員

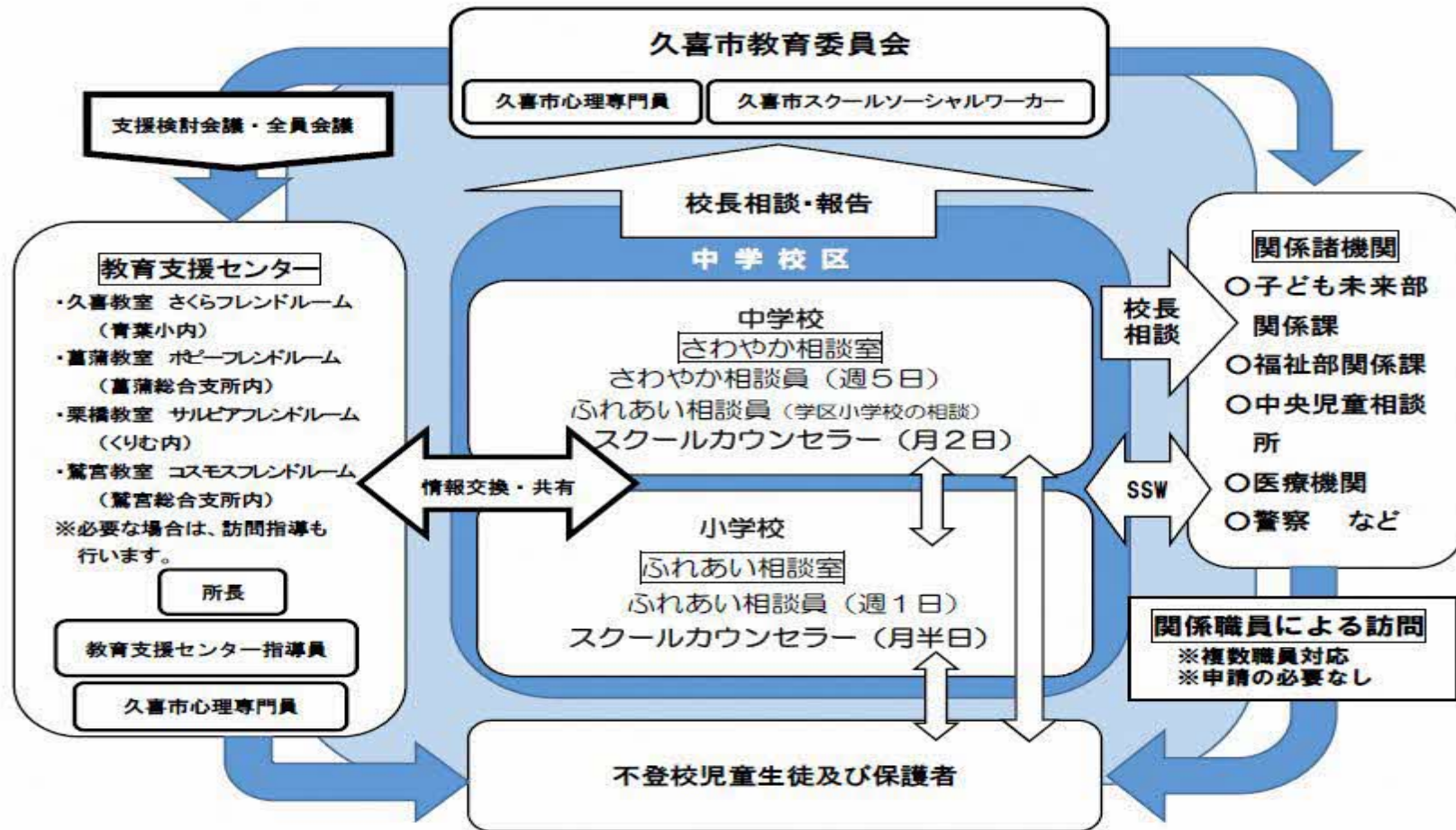
教育支援センター所長

スクールソーシャルワーカー

特別支援教育指導員

指導主事

5 関係機関との連携



久喜市総合的な不登校対策

とりのこさない みのがさない つくらない

学びたいと思ったとき
に学べる環境を

- 1 教育支援センター
- 2 久喜市共同オンライン分教室(KDX)
- 3 校内での支援
- 4 くき本樹塾
- 5 多様な学びの場との連携

<早期対応的視点>

子どもの発するSOS
に対する支援体制を

- 1 調査・アンケートの活用
- 2 ふかまるくん
ひんとちゃん
- 3 ガイドライン集
- 4 教育相談体制の充実
- 5 関係機関と連携

<早期発見的視点>

つくらない

学校をみんなが安心して
学べる場所に

- 1 オンライン教育の実施
- 2 個別最適な学び
協働的な学びの実現
- 3 STEAM教育の推進
- 4 教職員ポータルサイトの活用
- 5 インクルーシブ教育の
一歩先へ

<予防的視点>

コンセプト 1 時間・距離に制約されない**オンライン教育**の実施



- ・現実の教室とクラウド上の仮想教室 Google Classroom を日常的に連動させた、オンライン授業、ハイブリッド授業

- ・Google Meet などの Google ツールを使用して、国内外問わず、他の学校・地域・企業等 とつながった学習の実施



- ・中学校に登校することが困難な生徒の学習の機会を確保する為、Google Classroom と Google Meet、AI型学習ドリルを活用した「**久喜市共同オンライン分教室(KDX)**」の設置

科目	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
国語	英語	数学	理科	社会	音楽	体育
英語	国語	数学	理科	社会	音楽	体育
数学	国語	英語	理科	社会	音楽	体育
理科	国語	英語	数学	社会	音楽	体育
社会	国語	英語	数学	理科	音楽	体育
音楽	国語	英語	数学	理科	社会	体育
体育	国語	英語	数学	理科	社会	音楽



コンセプト2 客観的・継続的データに基づく**個別最適な学び**を提供

学習をコンピュータ上で行うことにより、学習の記録がデータ化、蓄積され、発言していない児童生徒も含めた一人一人の学習状況を把握する事で、**エビデンスに基づいたデータ駆動型教育への転換**を図ります。

[Benesse授業支援アプリ「ミライシード」内
授業支援「オクリンク」「ムーブノート」](#)



[・活用事例動画へ](#)

[Googleツール\(スライド、フォーム等\)を活用してClassroomで管理](#)

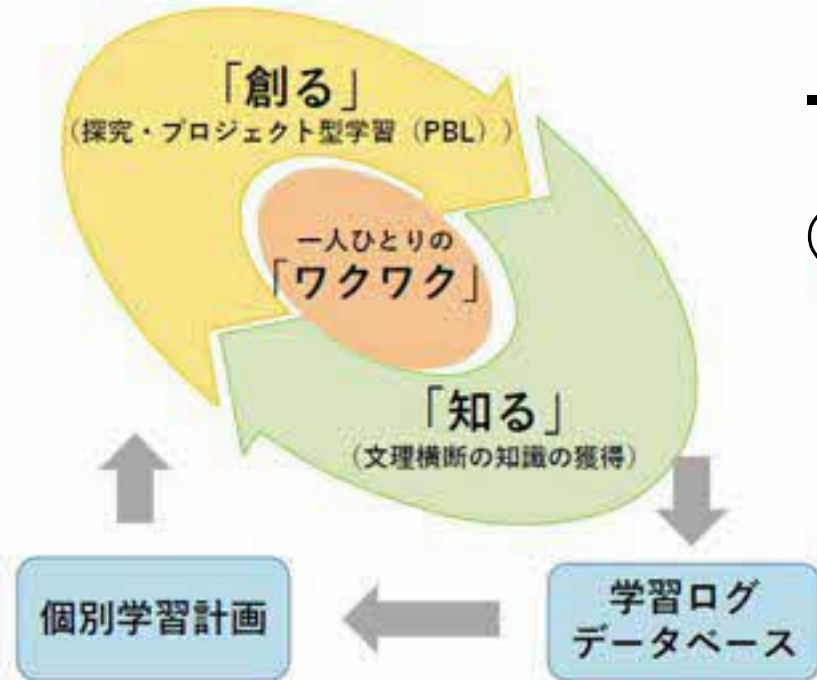


[・Google for Education 放課後オンラインセミナー](#)

コンセプト **3** 汎用的な能力を養う **STEAM化された学び** を提供

STEAM化＝

一人ひとりの「ワクワク」を核に、
「創る」ために「知る」、文理融合の学び



・地域や企業等と連携して、
社会とつながる教科横断的なPBL
(問題解決的な学習)を実施

＝SDGs実現のためのESDの中核

コンセプト3 汎用的な能力を養うSTEAM化された学びを提供

・地域や企業等と連携して、**社会とつながる教科横断的なPBL（課題解決的な学習）**を実施します。（産官学との連携）

・Google for Education 事例校
→**Google for Education**
パートナー自治体



「久喜市ジュニアICTリーダー育成講座」
・児童生徒の情報活用能力の育成
・探究的な学び、発信、共有の機会提供
・久喜市プレゼンコンテストの実施に向けた取組
・**デジタルシティズンシップ教育**の推進

全員受講 :コア研修
中級者向け:校務活用、活用力向上研修
Google サイト活用研修
上級者向け:認定教育者資格取得研修

・理想科学工業株式会社
→**教科横断的な授業提案**



○教職員向けにレベルに合わせた豊富な研修を実施
○企業連携は、掲載企業以外にも多種多様に連携中。
近隣の工業高校や大学等とも連携・協力。

・Amazon
→**地域貢献活動としての参画**

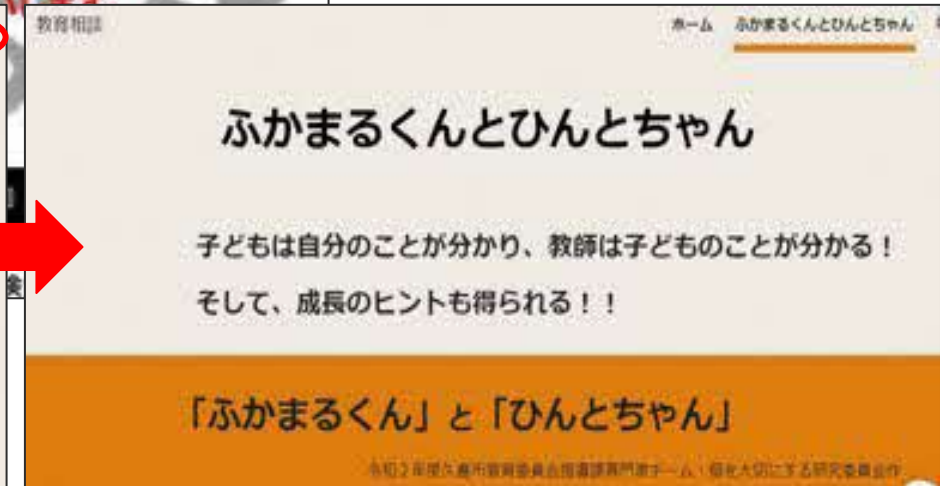


『Root』でプログラミング』withRobot社
(SDGs×総合×算数×学活等)



4 教職員向けポータルサイトの活用(市内共有)

必要な情報がすぐに活用できる！



5 インクルーシブ教育の一步先へ

学校内だけでなく、社会全体で共生社会を実現するために

ウェルビーイング教育研究委員会

→児童生徒一人ひとりがよりよく生きるための手立てを研究

久喜市郷土資料 本多静六博士 中島撫山先生

→郷土愛を育み、心豊かな児童生徒を育てる

人権感覚育成プログラムの実践

→全体計画への位置付け、多様な価値観の尊重

5 インクルーシブ教育の一步先へ

生徒指導上の諸課題に毅然と対応(教職員)
子どもたちが参画(生徒)

⇒子ども一人ひとりの心理的安全性の保障

SNSトラブル調査

⇒毎月実施...各校の状況把握、指導

生徒指導に関する調査

⇒結果の分析、指導

久喜市生徒指導推進委員会

⇒組織的体制構築への指導

いじめ問題対策連絡協議会

⇒市全体でいじめ問題に取り組む

中学生サミット

⇒生徒による主体的な取組



ALL Kuki 教育改革 プロジェクト

久喜市の学校では、次の3つの柱で教育の充実に取り組んでいます。

① 次代の世界で活躍する「未来を拓く力」を育みます

② 人とともに生きる「豊かな感性・尊重する心」を養います

③ 「絆を深め、地域社会と連携した教育」を推進します

子どもを育てるなら久喜市で！
教育するなら久喜の学校で！



久喜市の学校は

全校「コミュニティ・スクール」です

「コミュニティ・スクール」とは、学校に「学校運営協議会」を設置する学校です。学校運営協議会の熟議をもとに、校長がリーダーシップを発揮し、目指すべきビジョンの達成に向かって、学校・家庭・地域がチームとして、地域の力を生かした学校運営をします。

★学校と地域、家庭をつなげ、元気な社会を創ります。